【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公開番号】特開2005-160474(P2005-160474A)
【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2005-024
【出願番号】特願2004-326981(P2004-326981)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/12　(2006.01)
Ｃ１２Ｐ　13/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｎ　9/12
Ｃ１２Ｐ　13/24　Ｃ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年8月23日(2010.8.23)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４８】
変異型ｐｒｓＤＳ遺伝子（変異型ｐｒｓＤＳ遺伝子によってコードされるＰＲＰＰシンセターゼにおいて１１５位のアスパラギン酸をセリンに置換したもの）を２つの連続したＰＣＲにより構築した。第１段階では、エシェリヒア・コリＫ１２株の染色体ＤＮＡを鋳型として、第１のフラグメント用にプライマー１（配列番号３）及び３（配列番号５）を、第２のフラグメント用にプライマー２（配列番号４）及び４（配列番号６）を用いて、２つのフラグメントを増幅した。次に、得られたＰＣＲ産物を電気泳動で分離し、ゲルから溶出した。第２のＰＣＲでは、２つのＤＮＡフラグメントをアニールさせ、変異型ｐｒｓＤＳ遺伝子を完成させた。得られた、プロモーターを含まないｐｒｓＤＳ遺伝子を含むＰＣＲフラグメントをＢｇｌＩＩとＸｂａＩで処理し、同じ制限酵素で前もって処理された統合用ベクターｐＭＷ１１９－P_RのP_Rプロモーターの制御下に挿入した。このようにしてｐＭＷ１１９－P_R－ｐｒｓＤＳを得た。